

ニュース

交流人口増大で集客力アップへ

拡張工事が進む、空の玄関
4月から「第3段階」へ

阿蘇くまもと空港



駐車場側への拡張工事が終わった国内線ターミナルビル東側。ビルは道路側に約3m拡張、ビル前の歩道は4mから7.5mに広がった。軒裏には県産材が使用されている

政令市の空の玄関となる阿蘇くまもと空港では、国内線ターミナルビルの増築工事が進んでいる。
耐震補強やロビーの狭隘(きようあい)化の解消を図り、エレベーターや下りエスカレーターを設置によるユニバーサルデザイン化や太陽光発電の導入で環境に配慮したターミナルビルを目指す。熊本空港ビルディング(株)が10年8月に着工。九州新幹線の全線開業による交流人口増大を見据えた、総工費20億円の工事だ。

3段階に分けて工事を進めており、現在は第2段階の終盤。第1段階はビル東側の幅50mにわたる区間を駐車場側に拡張する工事で、11年7月に終了。その後の第2段階では、ビル中央部からチケットロビーまでを拡張する工事を進めており、今年3月までに終える。4月からは第3段階に入り、同ロビーから空港ビル入り口までを工事し、今年7月末に終了する予定。11年12月末現在の工事進捗率は73%。

▶空港ビル完成予想図。熊本城の長堀をイメージした外観になる予定。太陽光発電システムは屋根の3分の2を覆う



▶ビル中央部からチケットロビー付近の拡張工事が進む国内線ターミナルビル。4月からは第3段階に入る



▲木材が張られた自動ドア



▲拡張工事第2段階の終盤を迎えた空港ビル。駐車場側から撮影

入館者数が500万人を突破
11年度は前年度比10%増を見込む

熊本城本丸御殿



▲本丸御殿前で寺崎秀俊副市長(左から2人目)らと記念撮影。右から3人目が500万人目に入館した女性(写真は熊本城総合事務所所蔵)

08年4月から一般公開を開始した熊本城本丸御殿(熊本市)の入館者が1月17日、500万人を突破した。
500万人目となったのは社員旅行で訪れていた山口市の会社員の女性。当日の記念式典では寺崎秀俊副市長から熊本城の生涯フリーパスや本丸御殿図録、熊本市のイメージキャラクター「ひごまる」のぬいぐるみ、肥後椿(つばき)の苗などが贈られた。
熊本城総合事務所によると、九州新幹線の全線開業効果から11年度は前年度比10%増の115万人を見込み、1月15日時点で入館者数は90万人となっている。

日野原重明先生の「健康フェア&長寿健康セミナー」



日野原 重明先生
聖路加国際病院理事長
医療秘書教育全国協議会会長

会場 崇城大学市民ホール(熊本市市民会館)
日程 2月9日(木) 13:30~16:30
[1部]長寿健康体操
[2部]健康セミナー 講師/日野原重明先生
入場料 1名2,000円(税込)
特別企画_先着100名のみ(無料)
※10:30~12:30 長寿健康検査・健康相談
お申込は「ハガキ」か「FAX」で受付

お申込先 一般社団法人 熊本県経営コンサルタント協会
住所:〒861-4172 熊本市御幸笛田2-9-10
電話 0120-321-380 お申込FAX 0120-321-716

締切 2/4 (土)到着分迄

※〒・住所・氏名・電話番号・必要枚数をお書きの上、お申し込み下さい。お申込を受付⇒チケットと振込用紙を郵送⇒代金の振込(受付完了)★残席わずか、先着順 定員で終了